

新規国際交流員の着任について

I. フィンランド国際交流員（政策企画課文化国際室）

1. 氏名 Pauliina Peippo（パウリーナ ペイッポ）（女性）
2. 出身 フィンランド共和国 南西フィンランド地方 トゥルク市



3. 学位・経歴

2018 年 学士 トゥルク大学（専攻 日本の文化史）

2023 年 修士 トゥルク大学（専攻 東アジア研究）

4. 留学経験

2016 年～2017 年、2019 年春 関西外国語大学（留学）

5. 抱負など（応募作文から）

幼い頃から日本の社会や文化に興味があり、トゥルク大学では文化史から東アジア研究へと視野を広げ、社会・経済・政治を専門的に学びました。これまでに3度の日本滞在経験があり、関西外国語大学への留学に加え、有馬温泉旅館でのインターンシップでは日本のおもてなしと働き方を体得しました。また、在日フィンランド大使館での勤務や文化イベントの通訳ボランティアを通じ、両国の架け橋として実務経験を重ねてきました。私の目標は、日本での生活を通じて理解をさらに深め、専門的知見を活かして日本・フィンランド間の文化交流をより強めることです。情報が容易に得られる今だからこそ、人と文化が直接触れ合う温かい関係性が不可欠であると考えます。これまでの海外経験や公的な場での経験を発揮し、本プログラムの一員として交流の促進に尽力します。

6. 国際交流員の業務

- (1) フィンランド共和国・カラヨキ市を中心とした海外・国際友好姉妹都市との交流支援
- (2) 市内の幼稚園・小中学校、地域等での文化紹介、講演
- (3) 国際交流員による交流イベントの実施
- (4) 市役所内での翻訳・通訳業務及び本市の海外交流等に関する業務の支援

Ⅱ. フランス国際交流員（インバウンド推進課）

1. 氏名 Tanlet Elisabeth（タンレ エリザベート）（女性）
2. 出身 フランス共和国 オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏
メトロポール・ド・リヨン



3. 学位・経歴

- 2014 年 学士 リヨン第3大学（専攻 ドイツ語学科）
- 2016 年 学士 リヨン第3大学（専攻 日本語学科）
- 2022 年 修士 国立東洋言語文化学院（専攻 近代日本研究、現代日本文学）

4. 留学経験

- 2017 年～2018 年 大阪教育大学（留学）

5. 抱負など（応募作文から）

アニメの曲をきっかけに日本語の響きに魅了され、独学から大学での専門的な学びを経て日本語能力試験1級を取得、大好きな日本文学も原語で読めるようになりました。コロナ禍の渡航制限時期には、オンライン上でフランスの観光地を紹介するバーチャルツアーを実施したり、日仏旅行会社での勤務を通じ、まだ見ぬ日本の地方の魅力を発信する企画や交流に携わってきました。これまでの観光分野の知見と日仏交流の経験をいかし、国際交流員として地域に貢献したいと考えています。日本の魅力をさらに深く理解しながら、日本とフランスの双方向の交流を発展させる架け橋になりたいと思っています。

6. 国際交流員の業務

- (1) インバウンド誘客及び受入環境整備
 - ・外国語ウェブサイトやSNS等での情報発信
 - ・地域の観光関係団体等の外国人受け入れ環境整備等への助言及び協力
 - ・各種メディア・商談会等のアテンド
- (2) 市役所内での翻訳・通訳業務及び本市の海外交流等に関する業務の支援
- (3) 海外、国際友好姉妹都市との交流支援